5 徒歩帰宅のための支援があることをご存じですか？

愛知県は**基幹的徒歩帰宅支援ルート**を設定しており、県内の多くの市町村は、この基幹的徒歩帰宅支援ルートに接続する**徒歩帰宅支援ルート**や**災害時徒歩帰宅支援ステーション**を掲載した**帰宅支援マップ**を作成しています。あらかじめ入手しておき、帰宅ルート検討の参考にしてください。名古屋市では、東海地震の「警戒宣言」が発表され、交通機関が停止した時には、名古屋駅や栄に近い場所、幹線道路に近い計６カ所に、帰路につく市民のための「案内場所」を設置し、帰宅支援マップの配布や道案内をすることになっています。

＜案内場所＞　ノリタケの森(西区)、久屋大通公園（テレビ塔付近・中区）、白川公園（中区）、大曽根駅東(東区)、中村公園(中村区)、高蔵公園（熱田区）

■災害時徒歩帰宅支援ステーションとは

コンビニ・ガソリンスタンド・郵便局など、県と協定を結んだ店舗にはステッカーが掲示してあります。
災害時、営業の継続が可能な店舗では徒歩帰宅する方に、水道水、トイレの利用やラジオ等のメディアを通じて知り得た災害情報を提供します。

■災害救援ベンダーとは

災害発生時など停電が発生した場合に無料で商品を取り出すことができる、災害対応型の自動販売機です。行政などからの遠隔操作により、すべてのボタンが利用可能となり、押せば飲み物が出てくるタイプと、自動販売機の管理者が手動で災害モードへ切り替えて、取り出し可能となるタイプがあります。

備えポイント!

気象庁が発表する「東海地震に関連する情報」には、危険度が低い順に、**「東海地震に関連する調査情報＜定例＞・＜臨時＞」**、**「東海地震注意情報」**、**「東海地震予知情報」**があります。

●詳しくは気象庁ホームページ
http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/tokai/tokai_info_transmit.html

「東海地震注意情報」の段階では公共交通機関は運行を継続していますので、速やかに帰宅するようにしましょう。なお、「警戒宣言」の発表に伴って「東海地震予知情報」が出されると、多くの公共交通機関は運行を停止します。無理に帰宅しようとせず、安全な場所に留まりましょう。

A 山の被害　B 住宅街の被害　C 鉄道の被害　D 道路の被害

E 駅周辺の被害　F 高層ビルの被害　G 地下の被害　H 埋立地の被害

I 川の被害　J 海の被害

地震だけではなく、巨大台風などの風水害にも注意しましょう。

●愛知県 防災学習システムもご覧ください　http://www.quake-learning.pref.aichi.jp/

防災・減災備L（そなえる）ガイド～外出先編～
平成25年2月　発行／愛知県
○編集協力（五十音順、敬称略）
小栗　宏次　愛知県立大学 情報科学部 教授
国崎　信江　危機管理教育研究所　代表
栗田　暢之　特定非営利活動法人レスキューストックヤード 代表理事
廣井　悠　名古屋大学　減災連携研究センター准教授
福和　伸夫　名古屋大学　減災連携研究センター長